

釧路市と地域経済の成長促進に関する覚書を締結 ～地域の魅力を生かした「稼ぐ力」創出・強化へ～

2021年4月20日
北海道経済産業局

(本発表資料のお問い合わせ先)
経済産業省北海道経済産業局
総務企画部 企画調査課 (担当者：近江、山本、河面)
電話：011-709-2311(内線2520)
FAX：011-709-1775
E-mail：hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

北海道経済産業局では、地域経済の活性化を目指し、道内の中核自治体との連携を強化してきました。

今回、道内5例目の取組として、釧路市と「地域の魅力を生かした『稼ぐ力』創出・強化による地域経済の成長促進」を目的とした覚書を締結します。

1. 覚書締結式の概要

日時：2021年4月22日(木) 13:30~14:00

場所：釧路市役所本庁舎2階 第3委員会室

出席者：釧路市長 蝦名 大也

北海道経済産業局長 安藤 保彦



2. 覚書締結の趣旨

【テーマ】「地域の魅力を生かした『稼ぐ力』創出・強化」

- 釧路市では、釧路市ビジネスサポートセンターk-Biz等による地元企業等の地盤づくりの強化やアドベンチャーツーリズム市場におけるビジネス創出、ワーケーションの推進など、地域経済の持続的発展の実現に向けて果敢に取り組んでいます。
- 当局では、釧路市の強みや特性を活かした面的な支援を行い、従来の取組に新たな価値を加えることで潜在的な力を引き出し、地域の「稼ぐ力」の創出・強化のために覚書を締結します。

3. 主な覚書の内容

地域の魅力を生かした「稼ぐ力」創出・強化に向けた取組

- (1) 地元企業の地盤づくり強化やビジネスマッチング推進に関する事
- (2) 地域経済を支える人材確保と地元雇用の促進に関する事
- (3) 地域資源を活用した観光関連ビジネスの創出支援に関する事



参考：これまでの覚書締結自治体

旭川市（2020年1月20日）

室蘭市（2020年1月31日）

帯広市（2020年2月7日）

北見市（2021年3月25日）



地域経済の成長促進に向け、地元企業の生産性・技術力向上、販路拡大など地盤づくりの強化や新ビジネス・起業促進等を通じた新たな雇用機会の創出を図る。

1. 地元企業の地盤づくりの強化やビジネスマッチング推進

(1) k-Bizと連携した事業支援体制の構築

- 釧路市ビジネスサポートセンターk-Bizと連携し、釧路地域における経済産業省支援施策の活用推進を行うなど、窓口機能の充実拡大を図る。
- また、地元企業の地盤づくりの強化や新ビジネス・起業促進をはじめ、事業再構築や事業承継等、新たな雇用機会創出支援に向けた取組を連携して実施する。



(2) 首都圏企業等と地元企業とのビジネスマッチング推進

- 市内に整備予定のコワーキングスペースを活用して、経済産業省関連の情報発信を行うとともに、コミュニティの場の機能を整備する。
- また「ワーケーション」を実施する企業等と連携して、地元企業とのビジネスマッチングの実施により、地元産業の特性を活かした新たな事業を創出する。



地域経済を支える多様な人材の育成・確保に向け、学生を対象としたふるさと教育や政策アイデアコンテストを実施するとともに、課題解決型インターンシップの推進による新規事業創出を支援。

2. 地域経済を支える人材確保と地元雇用の促進

(1) RESAS※を活用した高校や大学に対するふるさと教育の推進

- 当局RESAS普及活用支援調査員が市内の教育機関等を対象に出前事業を実施し、若者の地域への関心を高め、卒業後の進路として地域で働くという選択肢を広げる。

※地域経済分析システム（RESAS：リーサス）は、地方創生の様々な取り組みを情報面から支援するために、経済産業省と内閣官房（まち・ひと・しごと創生本部事務局）が提供しています。地域の活性化に関心を持つ様々な分野の方によって、効果的な施策の立案・実行・検証のためなどに広く利用されています。



(2) 政策アイデアコンテストの企画・開催

- 地方創生の意識醸成や新ビジネス創出に向け、内閣府が実施する「政策アイデアコンテスト」に管内からのエントリーを実現すると共に、連携イベントを開催する。

(3) 地元企業のインターンシップ支援

- 課題解決型インターンシップ事業を市内企業や大学と連携して開催。企業が抱える課題を学生の斬新なアイデアで解決することにより、新規事業を創出する契機にするとともに若者人材の活躍の場づくりに繋げる。



アドベンチャーツーリズム(AT)市場を捉え、ATを中心とした観光振興によってひがし北海道エリアの稼ぐ力の向上を図るため、地元事業者らによる取組みを関係者が一丸となって推進・支援する。

3. 地域資源を活用した観光関連ビジネス創出支援

(1) ATを中心とした観光振興

- ▶ アドベンチャートラベル・ワールドサミット(ATWS)2021北海道の開催を契機に、ひがし北海道エリアでの釧路市の拠点としての機能強化や、周辺自治体等と連携した継続的な誘客、体験事業者をはじめとした観光関連事業者の育成、質の向上等の推進・支援につなげる。



(2) 食関連ビジネス等との連携による観光産業の付加価値向上

- ▶ 地域に優位性のある食資源等を活用し、地域企業や関係機関と連携した取組によってAT顧客等に対する訴求力を向上。観光周辺産業と連携した新たなビジネスの創出を支援する。



【参考】これまでの覚書締結状況

- 道内地域中核都市それぞれの強みを活かした魅力あるまちづくりと地域課題の解決を目指し、**経産局のリソースを集中投入して面的支援を実施。**
- **旭川市、室蘭市、帯広市、北見市の4市と覚書を交換。**

旭川市との連携プロジェクト(2020.2.1締結)



経済産業省
北海道経済産業局



旭川市

○旭川市は、地域の伝統産業である「旭川家具」を中心に、デザイン都市として、デザインのかで新たな価値を生み出し、産業活性化や暮らしやすい街づくりの実現を目指す。

室蘭市との連携プロジェクト(2020.1.31締結)



経済産業省
北海道経済産業局



室蘭市

○室蘭市は、製鉄、製鋼、石油精製、造船等によって培われた高度な基盤技術を有する100社以上の中小企業群が集積する企業城下町。域内ものづくり企業の新たな挑戦を支援する。

帯広市との連携プロジェクト(2020.2.7締結)



経済産業省
北海道経済産業局



帯広市

○十勝地域の広大な農業景観や食・自然などの強みや魅力を活かし、観光分野における新規プロジェクトの創出等の取組を、十勝エリア広域で連携して実施。

北見市との連携プロジェクト(2021.3.25締結)



経済産業省
北海道経済産業局



北見市

○北見市はテレワーク推進による企業誘致等に取り組んできた先進地域。また、カーリングホールを中核施設とした地域活性化を検討。関係人口の創出・拡大等により新たな人の流れをつくる。

旭川市との連携協定プロジェクトの一例

「スノースポーツ×デザイン」によるブランディング

取組1
 「デザイン都市旭川」のデザイン性を活かした
新商品開発

旭川家具を代表する「カンディハウス」と、上級者に人気の高い国内スキーメーカー「ベクターグライド」とのコラボによるデザイン性の高いアウトドアチェアの開発を支援。



取組2
 旭川を取組を広く発信するオンラインセミナー
の開催

「スノースポーツ×デザイン」による商品開発の取組や旭川エリアが目指す「都市型スノーリゾート」のあり方について、パネルディスカッションを通じ情報発信。

オンラインセミナー
 「スノースポーツ×デザイン×観光」がもたらす可能性
 ～旭川の挑戦～

主催 当局 SPOPLA北海道
 大雪カムイミントラDMO 旭川市
 SPOPLA北海道ポータル等から配信中

パネリスト（五十音順）



Vector glide CEO 秋庭将之氏
 星野リゾート代表 星野佳路氏
 (株)カンディハウス 代表取締役会長 渡辺直行氏
 MC 杉村太蔵氏

※役職は収録時

旭川エリアの強み
 2019年10月
 「ユネスコ創造都市ネットワーク」デザイン分野で加盟



室蘭市との連携プロジェクトの一例

先端ものづくり産業への参入支援

高度な技術力を有するものづくり企業に対し航空宇宙産業等への新規参入を促進し、ものづくり企業の競争力強化と室蘭地域における新たな産業軸の形成を支援。

○ MAS-NET – 「室蘭航空宇宙産業ネットワーク」が活動開始

室蘭地域の企業4社が受注拡大を目指してタッグを組む企業連合が発足。各企業の技術力と設備を活用し、様々な材料（難削材、耐熱合金、アルミ合金、樹脂系難削材等）とサイズに対応。商談会・マッチング事業への参加や専門家の支援を受け航空宇宙関連部品の受注拡大を目指す。

○ 道内中小企業で初めて航空宇宙分野での認証規格を取得

キメラは、金属の精密加工技術や金型の製造技術を活かし、専門家による支援を受け、昨年6月に航空宇宙産業への参入で求められる認証規格（JIS Q 9100）を道内中小企業で初めて取得。永澤機械も来年の認証取得に向け専門家による支援を受け取組を開始。

※地域企業イノベーション支援事業を活用



キメラ【精密金型】



今野鉄工所【機械加工】



永澤機械【機械・難削材加工】



ミヤタ技研工業【製缶・機械加工】

帯広市との連携プロジェクトの一例

「食」「農」「自然」を活かしたアウトドア観光の振興

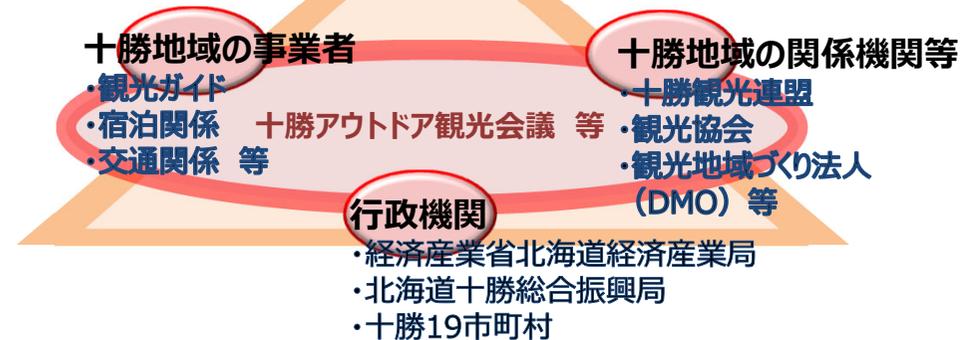
十勝ブランドを国内外へ展開させ、「食」・「農」・「広大な自然空間」等の組み合わせによる高付加価値な滞在型観光の推進を支援。

- 十勝地域の自治体・事業者等(37機関)のヒアリングを踏まえ、「十勝アウトドア観光推進マスタープラン」を策定(R2年10月)。
- 十勝アウトドア観光会議等における意見交換を実施し、当局と帯広市、十勝総合振興局、十勝18町村の連名で「十勝アウトドア観光推進プラン」を策定(R3年3月)。
- 本プランでは、十勝アウトドア観光推進プランの3つの視点(右図Ⅰ～Ⅲ)をベースとし、具体化のための重点テーマ(右図①～④)を設定。
- 今後、4つの重点テーマに沿った地域の取組に対し、「施策の活用・情報提供」「プロモーション」「環境の整備」等の積極的な支援を実施し、十勝の経済活性化を図る。

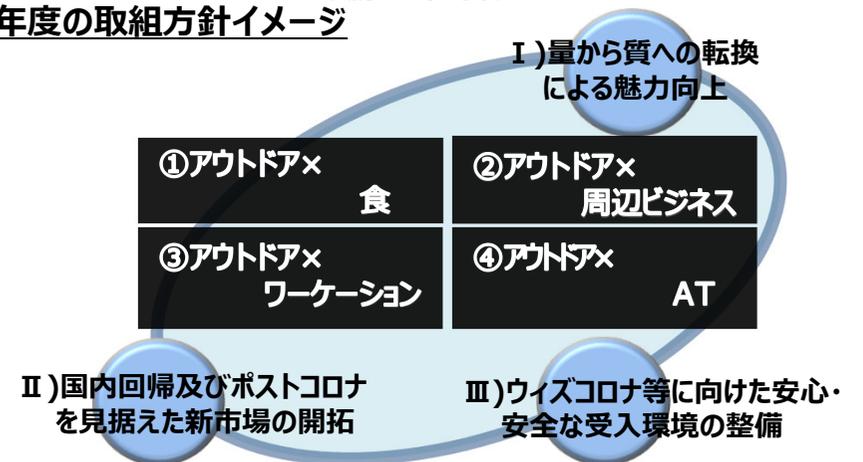
十勝アウトドア観光推進プランに基づく地域連携イメージ

十勝における取組への積極的な支援

施策の活用・情報提供、プロモーション、環境の整備 等



令和3年度の取組方針イメージ



関係人口の創出・拡大による地域活性化支援

北見市が策定した新たな地方創生総合戦略に基づき、首都圏企業の誘致や雇用創出に向けテレワークやワーケーションの取組を通じた関係人口の創出・拡大を推進していくために、覚書を締結。

○ サテライトオフィス北見を活用した地域活性化支援

首都圏企業（人材）の移住・定住を目指すため、テレワークやワーケーションの活動拠点として位置づけている「サテライトオフィス北見」の環境整備や魅力向上、情報発信力の強化に向けた取組を支援する。

○ 若者の定着・確保と地元雇用の促進支援

地元教育機関等と連携し、RESAS（地域経済分析システム）を活用したふるさと教育の実践や、学生と地元企業によるアイデアソン・ハッカソンの企画開催、地元企業との連携によるインターンシップ等を推進する。

○ カーリングホールを活用した稼げるまちづくり推進

新設されたカーリングホールを地方創生の実現に向けた施設として活用していくため、研究開発事業の構築や観光振興等への活用方法などを検討する研究会を設置。具体的な事業化に向けたマスタープラン策定を支援する。



市内中心部にある「サテライトオフィス北見」

